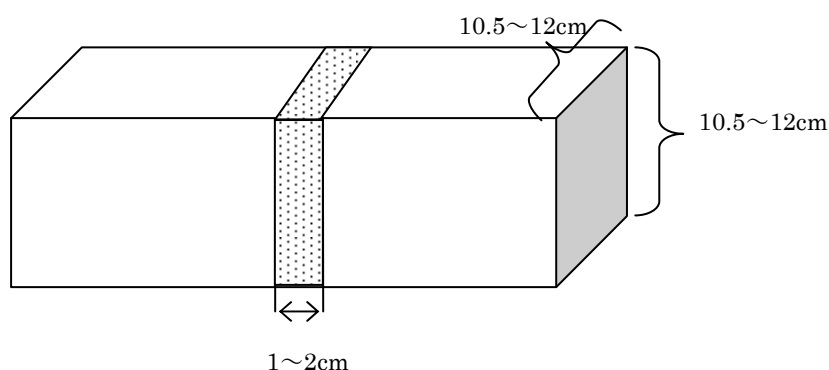


【サンプリング方法】 柱材を想定（10.5～12cm 角）

- ・ 角材または板の長辺方向に対して垂直に 1～2cm の厚さで輪切りにしたものを試料とする。



〔次の木材は試料としないこと〕

- ・ 著しく土砂等の汚れが付着しているもの
- ・ 長期間の浸水により含水率が著しく高いと思われるもの

【前処理方法】

サンプルをサイコロ状に砕き、粉碎器（ワンダーブレンダー）を用いて粉碎する。粉碎は目開き 1.5mm のスクリーンを全量通過するよう粉碎する。

なお試料に土砂等汚れの付着がある場合はブラシ等で払い落とす。また浸水等により含水率が通常木材より高いと思われる試料については恒量となるまで風乾する。

【分析方法】

- ・ 分析項目 全塩分
- ・ 分析方法

〔全塩分〕

容器に試料を 50g 分取し、純水を 500ml 入れて、毎分 200 回で 6 時間連続して振とうする。振とう後、1 μ m の GFP を用いてろ過し、これを検液とする。

検液を 0.20 μ m のフィルターでろ過し、イオンクロマトグラフ法で塩化物イオン濃度を測定する。

塩化物イオン濃度を換算し塩素含有量を求め、塩素含有量を NaCl 換算(mg/kg・WB)し、全塩分を求める。

- ・ 検液の調整は昭和 48 年 2 月 17 日環境庁告示 13 号による。
- ・ 測定方法は JIS K 0102 35.3 イオンクロマトグラフ法による。

- ・ 塩素含有量換算式

$$\text{塩素含有量(mg/kg)} = \text{塩化物イオン濃度 (mg/l)} \times (500/1000) \text{ l} \div (50/1000) \text{ kg}$$

- ・ NaCl 換算式

$$\begin{aligned} \text{全塩分(mg/kg)} &= \text{塩素含有量(mg/kg)} \times (\text{NaCl 分子量/Cl 分子量}) \\ &= \text{塩素含有量(mg/kg)} \times (58.4(\text{g/mol})/35.5(\text{g/mol})) \end{aligned}$$